



在宅医療・介護多職種連携協議会
啓発・広報部会

～報告～

令和2年10月16日

柏市在宅医療・介護多職種連携協議会

多職種連携
情報共有システム部会

研修部会

啓発・広報部会

<目的> 在宅医療・介護に係る市民啓発について検討する

- 市民啓発推進の検討
- 在宅医療情報紙「わがや」の発行
- その他在宅医療に関する啓発関係の検討

1. 啓発・広報部会の実施状況

＜令和元年度＞部会内容

第1回部会

(令和元年5月28日)

- 1 報告事項 ・前年度実施報告(『わがや』12号・13号, 地域啓発活動)
- 2 議事内容 ・新規事業
・在宅医療情報紙『わがや』14号・15号の内容
・意思決定支援ガイドラインに関すること

第2回部会

(令和2年1月29日)

- 1 報告事項 ・在宅医療情報紙『わがや』14号アンケート結果
・地域啓発活動実施状況
・在宅医療認知度アンケートの結果
- 2 議事内容 ・在宅医療情報紙『わがや』15号の校正
・新規事業『オヤジイノベーション2020』とのイベント企画案
・意思決定支援に関する市民啓発の取り組み

＜令和2年度＞部会内容

第1回部会

書面会議

(令和2年9月11日～27日)

- 1 報告事項 ・地域啓発活動(①出前講座 ②在宅医療啓発動画の活用)
・在宅医療情報紙『わがや』14号・15号・16号
・新規事業のその後:オヤジ★イノベーション2020
・在宅医療認知度アンケート
- 2 議事内容 ・在宅医療情報紙『わがや』17号の掲載内容へのご提案
・コロナ禍でもできる地域啓発活動へのご提案

2. 地域啓発活動

①出前講座

■多職種などで行う出前講座

医療・介護の専門職や市職員が、地域の学校、会社、市民活動の場面に出席して在宅医療の出前講座を実施。

市民が在宅医療・介護について学び、地域に必要な取り組みを考える機会となり、専門職からの具体事例の紹介を通じた在宅医療の実際について理解を深める。

実際の市民啓発の様子



✿市職員による啓発✿

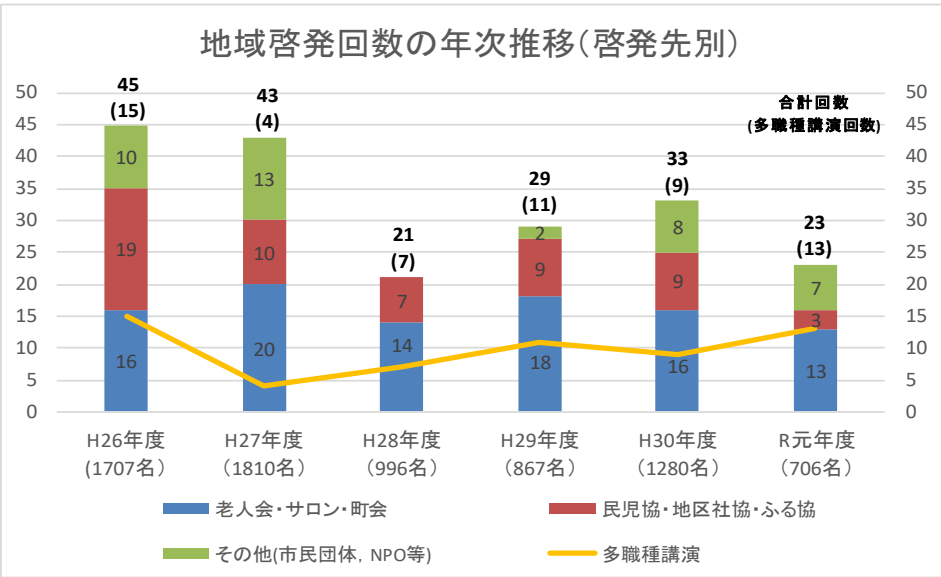


✿訪問看護師による啓発✿

<令和元年度>地域啓発活動実績

地域啓発活動回数

対象	回数 (多職種講演回数)	参加人数 * 延数
老人会・サロン・町会など	13(6)	401
民児協・地区社協・ふる協	3(2)	74
その他 (市民団体, NPO等)	7(5)	231
合計	23(13)	706



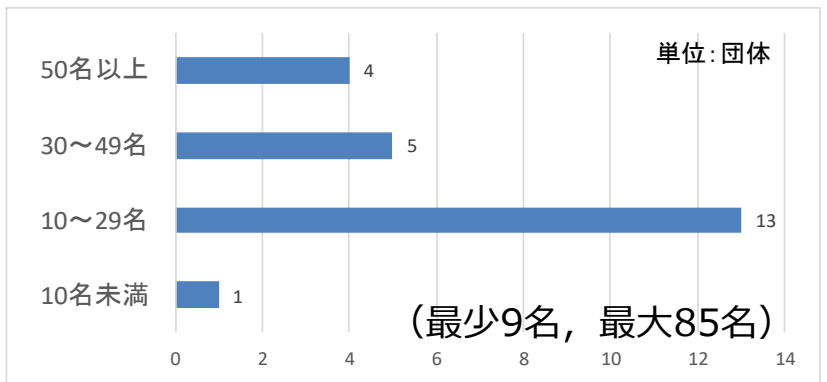
内訳：包括職員10回
訪問看護師3回

【令和元年度の傾向】

- ◎ 少人数の団体からの講演依頼が多い。
- ◎ 新型コロナウイルス感染症の影響で、1月以降開催できず、回数が減少。

◎ **多職種の講演機会が増加(半数以上)**

◎ **シリーズ化して複数回開催依頼をする団体**があり
さまざまな職種から講演を実施



サロンやNPO団体など4団体

<令和2年度>コロナ禍での地域啓発活動について

■新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い**新しい生活様式を取り入れた対応**を申込者に依頼し承諾が得られた場合のみ実施。

→令和2年度申込件数：5件（令和2年9月28日現在）

<新しい生活様式（例）>

■参加者について

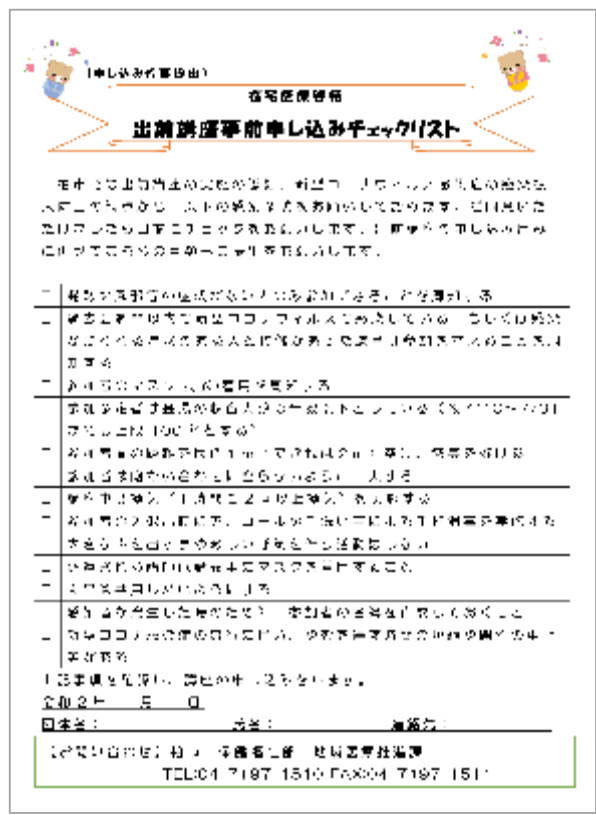
体調不良者の参加制限
参加者への体温測定，手指消毒，マスクの着用
参加者名簿を作成し，感染が明らかになった場合に活用

■講演環境について

参加人数を収容人数の半数にする←密集の回避
参加者間の距離を保つ（最低1m）←密接の回避
少なくとも30分毎に換気する←密閉の回避

■講師について

マスク着用，マイク利用の容認
感染対策が整っていない場合の講演見送り



事前提出をお願いしているチェックリスト
（柏市公式ホームページに掲載中）

■多職種を講師とした地域啓発活動について

感染暴露の可能性を考慮し，**今年度は，原則実施しない予定**



②在宅医療啓発動画の活用

在宅医療啓発動画

『**住み慣れた地域でいつまでも～柏の在宅医療～**』 2020年制作：柏市

<動画内容>

1) 時間 約10分

2) 内容

■ 柏市の連携する在宅医療現場より：約4分

- ・実際に在宅医療を受けている患者様宅での様子

■ 在宅医療とは（概要解説）：約4分

- ・在宅で受けられる治療や対象
- ・在宅医療を支える人たち など

■ 柏市の取り組み紹介：約2分



市内の医療・介護の多職種に御出演いただき、実際に利用されている様子をご自宅で撮影させていただきました。

★**地域啓発の場面で、在宅医療を知っていただくツールとして啓発動画を活用していきます。**

■ **動画視聴方法：柏市公式ホームページで『在宅医療』を検索！**

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/living/health/zaitaku/index.html>



3. 在宅医療情報紙『わがや』

1 目的

在宅医療について、広く市民の皆様知ってもらうために
啓発・広報部会で紙面内容を作成し発行

2 発行回数

年2回（9月・3月）
* H25年3月準備号発行から年2回発行

3 発行部数

191,000部／回

4 配布場所

- ・ポスティング（約138,000部：発行数の約72%）
- ・市内公立小中学校（約33,000部：発行数の約17%）
- ・市内医療機関 ・ 駅構内（柏駅，柏の葉キャンパス駅等）
- ・市役所関係（本庁，近隣センター，消防署等）
- ・地域包括支援センター ・ 図書館
- ・商業施設（セブンパークアリオ等）
- ・フィットネス振興会（Gold's GYM，メガロス，オックス，セントラル）など

「わがや」は、
柏市公式ホームページにて
入手できます。



バックナンバー
QRコード



<令和元年度発行>わがや14号・15号

14号・15号テーマ：10～13号の『わがや質問箱』に寄せられた質問に回答

14号
(令和元年9/1発行)

読者から寄せられた質問に多職種が回答する形で紙面を構成



15号
(令和2年3/1発行)

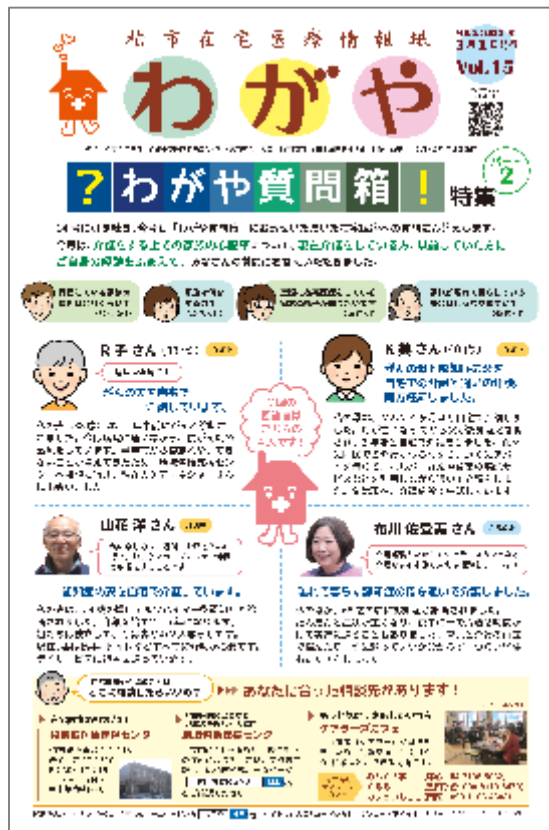
【家族の心配】に関する質問に4名の介護経験者が回答する形で紙面を構成

【具体的な質問内容】

- ・同居している家族の負担はどのくらい？
- ・家族は何をするの？
- ・実際に在宅医療をしている家族の様子が知りたい。
- ・家族が離れて暮らしている場合は、どうなりますか？

【具体的な質問内容】

- ・どこまでの治療をしてもらえますか？
- ・夜に体調が悪くなったら家まで来てもらえますか？
- ・自宅でも薬の説明をしてもらえますか？
- ・ひとり暮らしでも受けられますか？
- ・市内の在宅医療を行える医療機関の数は？



柏市在宅医療情報紙 令和2年9月1日発行 Vol.16

今号で「わがや」は、16号になりました。これまでためた「わがや」のことを知っていただきたい…ということで、今号は、「わがや」の特集をお届けします。

もっと思込みに知ってほしい

いつから読まったの？
平成25年3月21日発行の号から読まった人が、今年でなんと8年目だよ！

あらためまして
わがや
です！

何月に出るの？
毎月23日に発行しているよ。

どこで読めるの？
市役所生涯学習センター
地域包括支援センター
柏地区区画調整センター
などで読まれているよ！

今までの「わがや」を感心してみたい！
柏市公式ホームページで「わがや」を登録して初めて読めたが、オンラインでいつでも読みたい！
柏市公式ホームページから「わがや」を閲覧

こんな人たちが作っているの？
市長の命、お医者さんや薬剤師さん、ケアマネジャーさんなどの医療や介護の専門職の人たちが、みんなで見守りを出し合って「わがや」を作っているんだ。胸の内を、わがやがらみで話しているよ！

在宅医療の現場の声を紹介！
在宅医療の現場の声を聞いてもらいたくて、実際に在宅医療を受けている方たち、在宅医療に取り組んでいる医療や介護の専門職などに直接取材をしているんだ。

「わがや」に参加したい！
在宅医療のことでおもしろいことがあったら、企画の「わがや情報欄」に投稿してくれれば嬉しいな。
14-15号の「わがや情報欄」は、企画の担当者の担当から受け付けているよ。

「わがや」って、読みたいけどどうやって読むの？
紙面やウェブ版の両方で読めるよ！

新しい生活様式で開業する在宅医療を学ぶ 出前講座
自宅で在宅医療のことを知ってほしいから、出前講座を開催しています。
「在宅医療」ってなに？ どうやって受けられるの？ など、みなさんが気になることをお話しします。

参加費0円！
お申し込みはこちらのQRコードを
クリックしてください。

申し込み先
柏市生涯学習センター
04-7197-1510

新しい生活様式で開業する在宅医療を学ぶ 出前講座
申し込みのQRコード

11年9月1日発行 16号 256頁 | 発行所 柏市生涯学習センター | 〒277-0852 柏市中央1-1-1

■ 16号発行までの経緯

わがや紙面内容は、部会員の皆様からの意見を集約し取材等をおこない作成していましたが、新型コロナウイルスまん延に伴い、緊急事態宣言が発令されるなど、従来通りの作成が困難であったため、部会長にご相談の上、**「わがや」特集**という形で発行することになりました。

■ 紙面内容

- <表面> わがやの概要説明
新しい生活様式で開催する出前講座案内
- <裏面> わがやプレイバック
記念すべき第1号
在宅医療のリアルヴォイス！
若い世代の在宅医療を特集
在宅医療の費用ってどのくらい？ など

詳細は同封しました
わがや16号をご覧ください！



4. 新規事業のその後：『オヤジ★イノベーション2020』

■今までの取り組み

啓発・広報部会にて、
在宅医療を知っていただく対象として、これから介護を担う世代＝現役世代をターゲットに啓発活動をおこなってはどうかとご意見をいただきました。

そこで、柏市でさまざまな活動をしている現役世代・オヤジたちの集まりが毎年開催している『オヤジ★イノベーション』との協働企画として、令和2年3月開催に向けて、準備を進めてまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症まん延に伴い、
『オヤジ★イノベーション2020』は延期となっております（令和3年3月開催予定）

*オヤジ★イノベーションとは

柏市内の地域で活動するオヤジ達の活動紹介や、そこで活動する方たちと交流し、まだ地域活動に参加したことのない若い世代の男性や定年間近の男性に、活動へのきっかけを得ていただくために開催している。

企画・運営は、主旨に賛同して集まった市民有志による「オヤジ★イノベーション実行委員会」



2019年のオヤジ★イノベーションの様子 @アミュゼ

5. 在宅医療 認知度アンケート（令和元年度報告）

●目的

在宅医療の認知状況を把握するために毎年実施

●実施期間

令和元年11月～12月（地域啓発は年間）

●対象

市民（医療機関受診者，地域啓発の参加者）

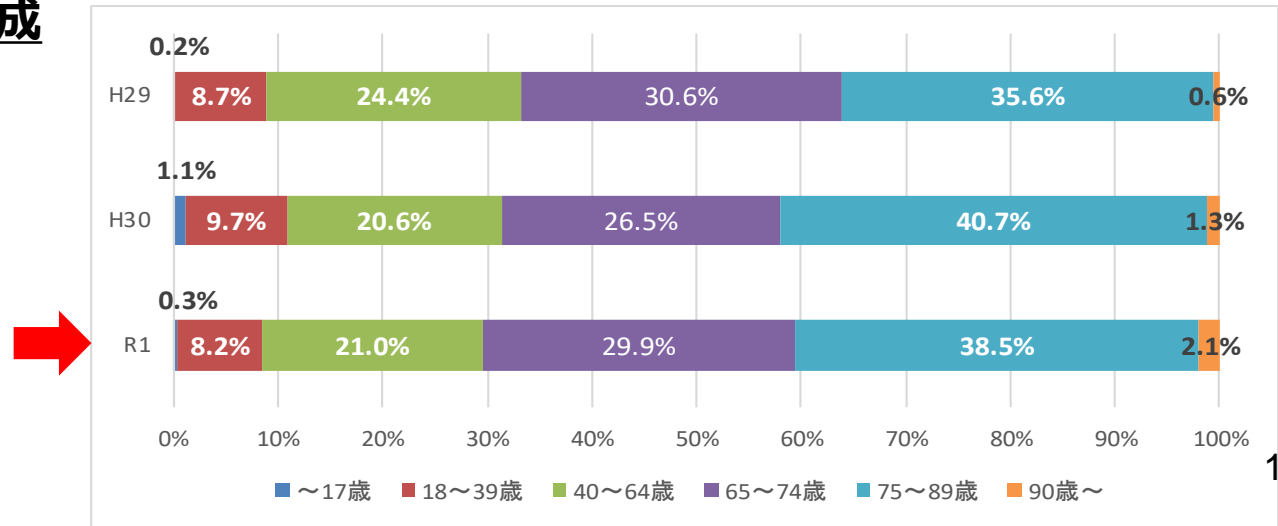
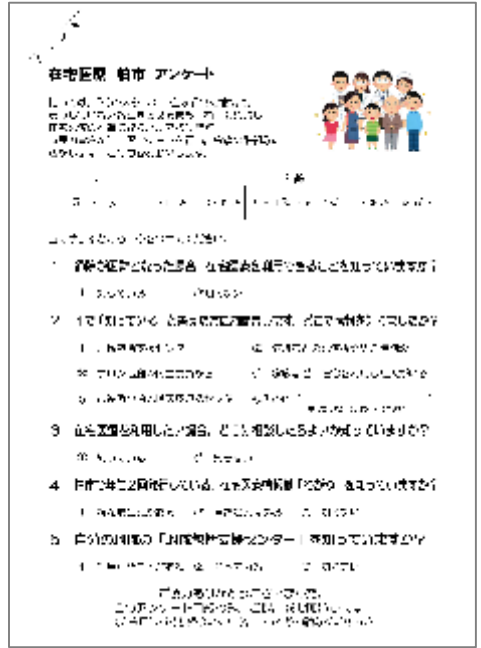
●調査方法

医科・歯科診療所，薬局のご協力の下，待ち時間に回答。
また，地域啓発前に回答。

●回答数

695件

●回答者の年齢構成



アンケート内容

在宅医療 柏市 アンケート

柏市では、「その人らしく、住み慣れた地域で、安心して暮らす」と目指すため、柏市をめぐり、在宅医療の推進に取り組んでおります。市民の皆さんに、アンケートを行い、今後の取組方針に活かします。ご協力をお願いします。



性別	年齢					
	～17歳	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～
男						
女						

当てはまるものには○をつけてください。

1 通院が困難となった場合、在宅医療を利用できることを知っていますか？

- ① 知っている ② 知らない

2 1で「知っている」と答えた方にお聞きします。どこで情報を知りましたか？

- ① 地域包括支援センター ② 施設などの区民相談や介護施設
- ③ リンク活動や民生委員から ④ 家族などに在宅医療を利用した人がいる
- ⑤ 市役所や地域包括支援センター ⑥ その他 ()

3 在宅医療を利用したい場合、どこに相談したらよいか知っていますか？

- ① 知っている ② 知らない

4 柏市で年に2回発行している、在宅医療情報紙「わがや」を知っていますか？

- ① 読んだことがある ② 見たことがある ③ 知らない

5 自分の地域の「地域包括支援センター」を知っていますか？

- ① 利用したことがある ② 知っている ③ 知らない

ご協力ありがとうございました。
このアンケート用紙のみ、ご持出をお断りします。
(2枚目はお持ち帰りいただき、しっかりお返願ください。)

在宅医療の認知度は、
すこしずつ増えています。

→→→在宅医療を「知っている」と回答
約7割 (H30 68.1%→R1 69.7%)

→→→在宅医療の相談窓口を「知っている」と回答
約4割 (H30 42.7%→R1 44.8%)

→わがやを「読んだことがある」「見たことがある」と回答
約4割 (H30 27.7%→R1 35.2%)



6. 第1回部会（書面会議）の議事内容について（報告）

以下の議事内容に，部会員の皆様よりご意見をいただきました。

<部会員から寄せられたご意見> *一部抜粋

①在宅医療情報紙『わがや』17号（令和3年3月1日発行予定）の掲載内容

○コロナ禍で奮闘している在宅医療の特集（4件）

コロナ禍で奮闘している現場特集，コロナ禍で変わったこと・変わっていないこと，感染しない工夫や頑張りから“安心”を提供したい。

○在宅医療の“自宅”以外の選択肢の紹介（2件）

○在宅医療が不可欠な方（難病・子ども在宅医療など）の紹介（2件）

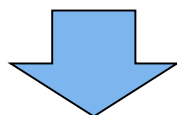
○在宅医療を利用する相談窓口「柏地域医療連携センター・地域包括支援センター」の紹介（1件）

○がん告知後の経過や選択肢などの紹介（1件）

○在宅での栄養士の活動紹介（1件）

○柏プロジェクト特集（1件）

○在宅医療の体験談・絆特集（1件）



<わがや17号の掲載内容>

「コロナ禍で奮闘している在宅医療の特集」

② コロナ禍でもできる地域啓発活動へのご提案

○オンライン等の活用（7件）

- ・ Web（YouTube, SNS, Zoomなど）の活用
- ・ 待合室等のデジタルサイネージでの啓発

○コロナ関係の啓発（2件）

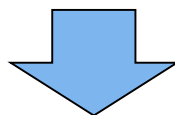
コロナの予防方法, コロナが疑われた時の相談・連絡先

○39歳以下の在宅医療認知度増加を目指した取り組み（1件）

- ・ 小中学生向けの在宅医療職業体験イベント, 小中学校での啓発
- ・ 在宅医療に関係のない職種（駅員やショップ定員等）に期間限定で啓発グッズを付けてもらう
- ・ インスタ映えする掲示物の展示とメディア取材

○カシワニネットの活用（1件）

職能団体のお部屋にわがやバックナンバーを置く



<コロナ禍でもできる地域啓発活動>

オンラインの活用や**デジタルサイネージでの啓発**などをおこなっていきます。